

都市再生整備計画(第3回変更)

みなみせんりえきしゅうへん
南千里駅周辺地区

おおさかふ すいたし
大阪府 吹田市

平成24年3月

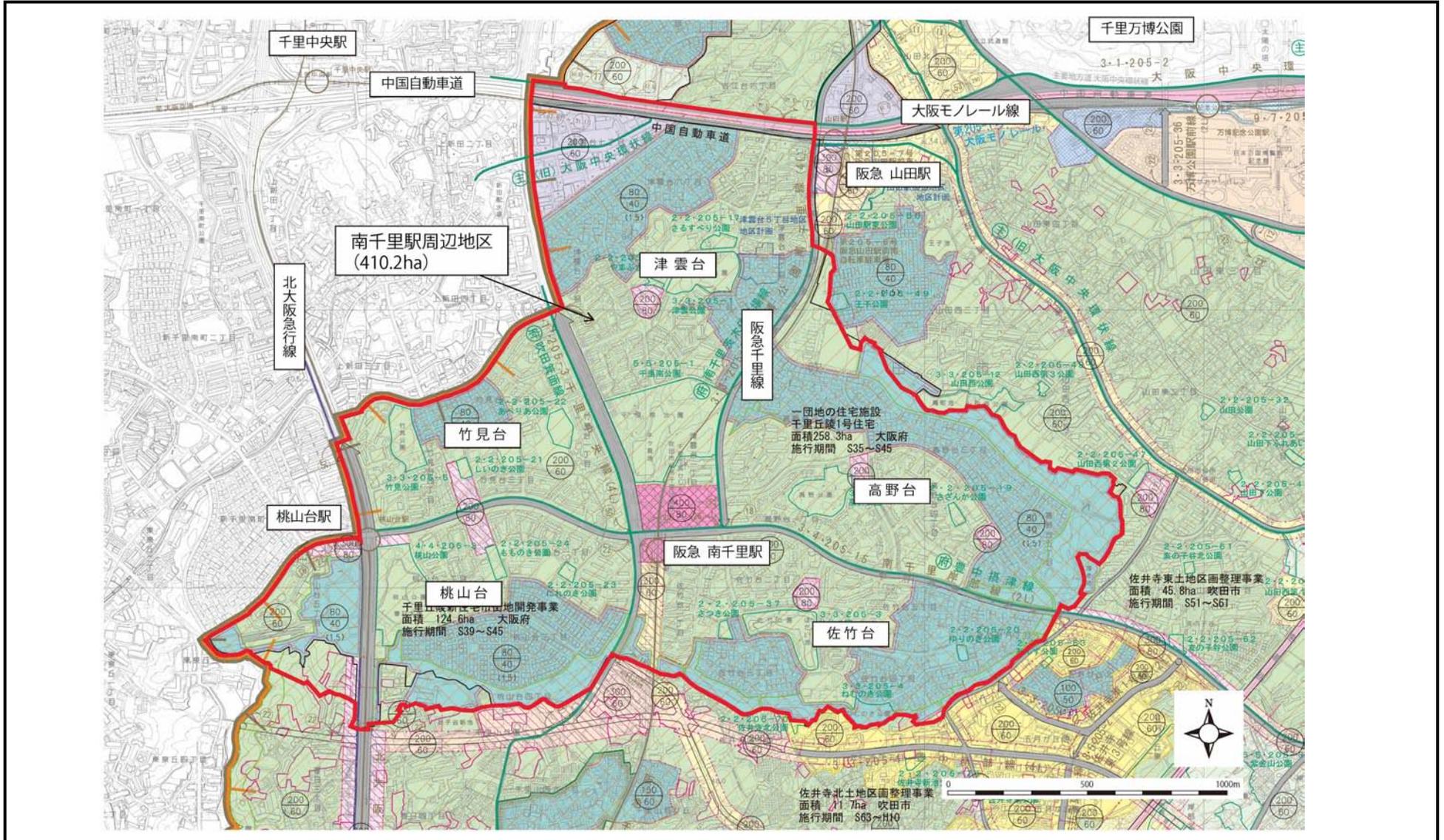
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(交通利便性の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状通り抜けの駅前道路のロータリー化を図り、交通導線の整理を行い安心安全の施設とする。また駅と交通広場等との相互アクセス経路となる歩道や歩行者デッキ、エレベーターやエスカレーター設置等によるバリアフリー化を行う。さらに地下機械式自転車駐車場の設置等で交通結節点としての機能を充実させ、地域の交通環境や利便性の向上を図る。 	<p>道路事業(基幹事業) 地域生活基盤施設(基幹事業/自転車駐車場) 高次都市施設(基幹事業/歩行者デッキ) 南千里地区道路特定事業(関連事業/バリアフリー) 桃山台駅前整備事業(関連事業/歩行者デッキ、EV)</p>
<p>整備方針2(アメニティの向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千里ニュータウンの南の玄関口にふさわしい憩いと潤いのある空間を創出するため、駅前広場内や駅前デッキに緑化施設等の整備を行う。また近接する都市公園である千里南公園の機能充実のため、バリアフリー化等再整備も行き、まちの魅力の向上を図る。 	<p>高質空間形成施設(基幹事業/シェルター) 地域生活基盤施設(基幹事業/公園)</p>
<p>整備方針3(地域コミュニティの形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千里ニュータウンも開発後、40年が経過し、住民意識が変化する中で、地域協働によるまちづくりを一層すすめるための場所や機会の提供により、市民相互の交流の向上や魅力のあるコミュニティの形成を図る。また住区の高齢化に伴う健康や交流事業の促進、周辺大学との連携など地域特性を踏まえ、新たな公共サービス機能導入を図り、更なる発展をめざす。 	<p>高次都市施設(基幹事業/千里市民センター) 地域創造支援事業(提案事業/情報発信拠点施設、地域福祉保健拠点施設、地域交流拠点施設)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市景観への配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の再整備にあたって、吹田市の玄関口にふさわしい憩いと潤いのある空間を創出し、都市景観にも配慮した再整備を行うため、学識経験者で構成される吹田市都市景観アドバイザー会議に計画案を諮り、都市景観の形成に関して助言を求める予定である。 ○関連事業の推進による総合的なバリアフリー化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・吹田市交通バリアフリー基本構想及び同道路特定事業計画に即して、交通安全施設等整備事業(統合補助)を活用し、また大阪府による府道部の整備とも連携し、特定経路のバリアフリー化を平成21年度から行う。 ○第2期工事について <ul style="list-style-type: none"> ・住民要望も強く、また老朽化の進む南千里駅周辺施設の整備を第1期としたため、第2期工事として5地区に係る各種整備に向けての検討を関係部署と行い、平成27年度より着手予定である。 	

都市再生整備計画の区域

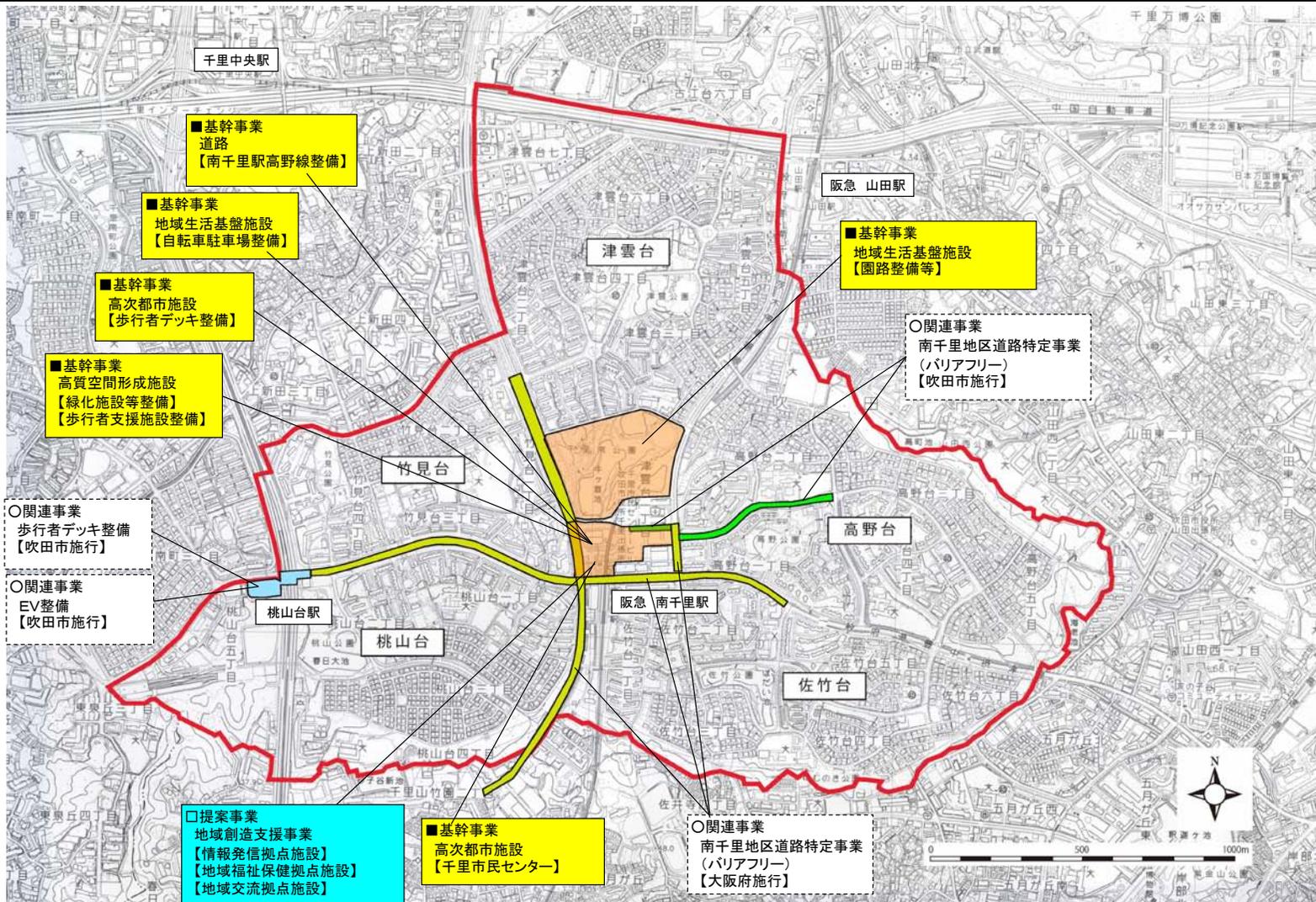
南千里駅周辺地区(大阪府吹田市)

面積	410.2 ha	区域	津雲台、竹見台、佐竹台、高野台、桃山台
----	----------	----	---------------------



南千里駅周辺地区(大阪府吹田市) 整備方針概要図

目標	「魅力あふれるにぎわいのあるまち」の再整備 ・交通利便性の向上 ・アメニティの向上 ・地域コミュニティの形成	代表的 な指標	交通利便性の向上 (m)	330 (20年度) → 200 (25年度)
			アメニティの向上 (%)	21 (20年度) → 31 (25年度)
			公共施設の利用者数 (人/年)	130000 (18年度) → 143000 (25年度)



凡 例	
■	基幹事業
■	提案事業
○	関連事業